通常議員総会・記念講演を開催しました





去る３月２５日(金)、通常議員総会を亀山商工会館２階ホールにて開催しました。

冒頭の挨拶で、岩佐会頭は、「我が国の経済は政府の政策効果を背景に、景気は緩やかな回復局面に入っておりましたが、個人消費の停滞感や金融市場の混乱から、このところの足踏みが懸念されており、地域経済を支える小規模事業者・中小企業は景気回復を実感できず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当商工会議所では、昨年１０月から３か月間、市内２８３店のご参加をいただき、地元消費喚起のため、亀山市プレミアム付き商品券発行事業を行いました。商品券の応募状況については、準備冊数１万５千冊に対し、応募が４万５千余りで、当選率が３３％と非常に好評でありました。現在、参加事業所からのアンケート調査の集計を行っておりますが、商品券の発行と併せ、販売促進を行った事業所が全体の３割で、そのうち６割は、その効果があったと回答いただいており、一定の成果があったと考えております。また、２月には新事業として一年ほどの準備期間を経て実施いたしました、知って得するまちのゼミナールについても大変好評で、参加事業所から次回に向け、開催を待たれる声も聞こえてきており、商工会議所として新しい事業にチャレンジしていくことの重要性を改めて認識いたしました。

２月下旬には、国の持続化補助金の説明会を開催し、前向きな取り組みを行なう小規模事業者への経営指導員による伴走型支援など、引き続き小規模・中小企業向けの経営支援にも全力で取り組んでおります。

また、当地の将来を担う地域ビッグプロジェクトであります、リニア中央新幹線の東京・名古屋間の早期建設と亀山停車駅の誘致や鈴鹿亀山道路など、地域インフラの整備促進についても引き続き努力して参りますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。」と挨拶を述べました。

協議事項では、第１号議案の平成２８年度事業計画並びに一般会計・特別会計収支予算（案）は、原案通り承認可決され、総会終了後、記念講演「地域経済の動向と見通し」と題し、㈱百五経済研究所　代表取締役社長　荒木康行 氏より、当地の経済状況と今後の見通しに加え、東海道関宿の魅力を踏まえ、観光による活性化の方策などについてお話をいただき、出席議員は熱心に聴講しました。